

## 第 26 回理事会議事録

1. 日時 : 2015 年 6 月 26 日 (金) 午後 6 時 30 分～10 時 20 分
2. 場所 : 東京都新宿区四谷 1-13 虎ノ門実業会館四谷ビル 2F 四谷ブリッジセンター
3. 出席者:【理事 9 名】細田博之、鳩山勝郎、大橋正幸、兼岩芳樹、高崎恵、寺本直志、  
中谷忠義、山田和彦、吉田正  
【欠席 4 名】 ロバート・ゲラー、齋藤陽子、島村京子、橋本公二  
【監事 2 名】 神代高弘、成田秀則  
【事務局 3 名】 清水映樹事務局長代行、大政哲人事務局長代行補佐、  
鈴木正人競技会事業部長代行  
【オブザーバー 1 名】 宮内宏顧問弁護士  
(理事現在数: 13 名、定足数 7 名、本人出席 9 名)

### 4. 議事の経過及び結果

細田博之会長を議長に、議題を逐一審議した。なお、細田会長は午後 8 時 30 分に退席したため、その後は鳩山勝郎会長代行を議長に議題の審議を行った。

第 1 号議案 第 25 回理事会議事録案および第 4 回会員総会議事録案の承認について  
第 25 回理事会議事録については誤字を一部修正の上、議事録案を承認した。  
第 4 回会員総会議事録については、第 1 号議案の審議の際に、理事会で承認した事業報告書に対して総会の場で理事から異議申立があったことについて質問があり、宮内弁護士より理事であっても会員の立場で発言することは特に問題ないが、できれば理事会において議論を尽くすべきであったと説明があった。記述内容を一部修正の上、議事録案を承認した。

第 2 号議案 正会員の入会申請について  
以下の 1 名の会友より提出された入会申請につき審議の結果承認した。  
高取正治 (会員番号 98195)

第 3 号議案 特別会員の退会および会員の逝去について  
以下の特別会員より会員継続辞退の申出を受けたとの報告があった。  
遠藤利男 (会員番号 124872、4 月 30 日)  
また以下の会員の逝去の連絡があったとの報告があった。  
岡田裕子 (会員番号 51855、6 月 15 日)

第 4 号議案 公認クラブの承認について  
前回理事会で保留となっていた AKIO デュプリケートブリッジクラブの申請

内容について検討を行い、これを承認することに決定した。

AKIOデュプリケートブリッジクラブ（クラス3、オープン）

マネージャー：黒川玲子

ディレクター：黒川晶夫

開催日：毎週火曜日午後1時30分～

第2/3/4水曜日午前10時15分～&午後1時30分～

第3木曜日午前10時15分～&午後1時30分

会場：六本木嶋田ビル3F（東京都港区）

会場の開催フロアについて、申請書には 5F と書かれているが、ゲームは 3F で開催されているのではないかと質問があり、黒川氏に確認したところ 5F はオフィスであり、主に 3F でゲームを開催していると回答があったため、会場は六本木嶋田ビル 3F とすることで承認することとした。

第 5 号議案 2020 年頭脳五輪開催および 2018 年アジア競技会でのブリッジ採用について  
中谷国際交流担当理事より以下の説明があった。

2018 年にジャカルタで開催されるアジア競技大会でブリッジが採用されることに決まったとの内容が WBF ホームページに掲載された。OCA および JOC に問い合わせているがまだ回答がない。アジア大会でブリッジが採用された場合、2018 年には APBF 選手権は開催されないと思われる。これまでの例では 2018 年は連盟が JOC の準加盟団体となり、派遣費用は JOC が負担することになる。

3 月 2 日付の読売新聞に文部科学省が 2020 年頭脳五輪（WMSG）の招致を計画している内容の記事が掲載された。日本棋院に尋ねたところ、この記事の内容を把握しており対応を検討中と回答があった。6 月 29 日（月）に日本棋院から山城宏副理事長と重野由紀海外普及担当が連盟を訪問して対応を協議することになっている。

中谷理事より日本棋院との会談の後、文部科学省および JOC の担当者と会談を行いたいが、その際に細田会長に紹介を願いたいと提案があった。

兼岩理事から文部科学副大臣の藤井基之氏が大学時代の研究室の 1 年先輩で、昨年から後援会の幹事になっているため、今後文部科学省の意向について挨拶を兼ねて話を伺う予定であると説明があった。

第 6 号議案 各委員会及び事業部報告について

#### 1. 人事委員会

嶋山人事委員長より先週開催した人事委員会の内容について説明があった。

清水普及事業部長が今年 12 月、大政事務局長代行補佐が来年 12 月に定年を迎える。普及事業部長を年内に公募を行い、来年 4 月を目処に採用した

いと提案があった。

事務局の規模を縮小する提案があったが、来年末までに2名が定年を迎える中で少なくとも1人は公募で即戦力となる人を採用したいと説明があった。新卒採用ではなく中途採用を選ぶのは連盟事務局の規模ではじっくり新人を育成することは難しいため。

検討の結果、10月末発行の会報に公募の告知を掲載することとし、人事委員会で検討を進めてゆくことを承認した。

## 2. 企画委員会

山田企画委員長より6月12日開催の企画委員会について説明があった。

第2号議案「公認クラブとブリッジセンターに関する規則改正について」及び第3号議案「ブリッジセンターとの会計処理基準について」はセンター協議委員会で報告する。

今年度の企画委員会の活動方針は以下のとおり。

1. 競技会参加者数を増加させるための方法について検討を行う。
2. 規則類の整備、ウェブへの反映について宮内顧問弁護士とともに作業を行う。
3. ディレクターワーキンググループの活動。

内容については寺本理事より以下の報告があった。ナショナルディレクターが7年で更新の試験を行うことになっているが、その対応を検討する。また、ディレクター裁定についてのトラブルの報告について検討を行った。

## 3. センター協議委員会

山田センター協議委員長より5月15日開催のセンター協議委員会及び6月11日開催のセンター協議検討会について説明があった。

### 1. ブリッジセンターのとの会計処理基準の導入

原則として毎月末締切、翌月10日までに請求書を発送、翌々月10日までに支払を行う（第1基準）

特定のセンターについては限度額を設定し、それを超えない範囲内で数ヶ月にまとめて支払を行う（第2基準）

センター側の事情で期限までに支払が行えない場合、文書により理由と支払猶予期間を明らかにして連盟に申し出るものとする。

この取り決めについて、文書で各センターと合意を取り交わすことに決定した。

### 2. 「公認クラブとブリッジセンターに関する規則」改正について

主な改正点は以下のとおり。

- ・事業主体と代表者を明らかにする。公認ブリッジセンターの新設／更新届けに追加した。

- ・ウィークリーゲームの開催条件の見直しについて提案があったが、センター側からは現行の維持を希望したため、現規則のままとする。
- ・センターの事業の承継についての規定を追加した。この機会に組織変更を検討するセンターは特例措置を適用する。
- ・新設／更新届の一番下に「事業主体およびその関係者は反社会的勢力とは無関係である」との一文を記載することになった。

検討の結果、10月1日施行を目標に改正作業を行うことを承認した。また、理事会議事録、理事会資料を事務局員も閲覧して知識を共有すべきとの意見があり、今後事務局内で対応を検討することになった。

#### 4. 代表選抜委員会

橋本代表選抜委員長が欠席のため、事務局より世界選手権の代表メンバーならびにキャプテン指名の提出があり、以下のとおり承認した。

オープン：前田尚志（NPC）、陳大偉、寺本直志、田中陵華、加来浩、古田一雄、横井大樹

ウィメン：宮国健次（NPC）、宮国亜矢子、坂本みどり、島村京子、西田奈津子、佐藤牧子、大手瑠利

シニア：山田和彦（PC）、山田彰彦、大野京子、中村嘉幸、井野正行、今倉正史

来年度の代表選抜についての募集要項が提出され、前年までと異なり3チームの場合も決勝のみ行うこととし、それに合わせて代表選抜規則の修正案も提出された。

APBF 選手権のシニア部門も今後各国1チームのみとなるためシニアも6人登録とするべきという発言、および、来年度はAPBF 選手権がないので、代表選抜試合の開催時期を遅らせるという提案があったため、これを反映させた募集要項および代表選抜規則の修正案を次回理事会に提出することに決定した。

#### 5. 競技委員会

寺本競技委員長より以下の報告があった。

- ・以下のワーキンググループを編成した。

MPに関するワーキンググループ

コンベンション・アラートに関するワーキンググループ

競技会運営・試合要項に関するワーキンググループ

- ・マスター位の称号に関してレッドポイントの条件を緩和する提案があったが、現状維持とした。

#### 6. 普及事業部

清水普及事業部長より以下の説明および報告があった。

- ・新・再入会者を紹介した会員会友に QUO カードを進呈する紹介キャン

ペーンを 2015 年 1 月から 4 月まで行い、期間中の入会登録は 227 名(新入会者 200 名(昨年比△180 名)、再入会者 27 名(△3 名)、紹介者 51 名(△59 名))となった。潜在的に入会を待っていた人は昨年中に入会したものと思われる。

- ・NHK 文化センター仙台、東急セミナーBE 雪が谷でのブリッジ講座が 7 月から開講する。
- ・5 月 30 日付の読売新聞朝刊、家計の知恵面「始めよう！」コーナーに紹介記事が掲載された。
- ・東京五輪追加種目を申請した 26 競技のうちにブリッジが入っていたために、一次審査が発表された 6 月 22 日にかけてテレビ取材が相次いだ。
- ・2 月から 3 月にかけて朝日新聞に告知広告を掲載した体験教室および入門講習の受講者のうち、広告を見て受講した人数をまとめた表が提出された。
- ・会員更新状況について、更新率は現在 83%程度で、例年より下回っていると報告があった。
- ・9 月にギリシャで開かれる「10<sup>th</sup> International Greek Bridge Festival」にユースチームの招待があり、航空券の半額の助成申請があった。検討の結果、ギリシャ経済が破綻する懸念があり、それに伴い治安の問題も影響してくる可能性もあるため、期限の 6 月末まで様子を見て判断することとなった。

#### 7. 競技会事業部

鈴木競技会事業部長代行より競技会事業部活動状況および資格獲得者の報告があった。

#### 8. 国際交流事業部

中谷国際交流担当理事より、6 月 20 日にバンコクで開催された代表者会議について、以下の報告があった。

- ・東チモールの APBF 加盟を正式承認した。
- ・APBF 役員を選出した。今期よりゾーン 4 とゾーン 7 の会長が APBF の副会長に就任する。
- ・APBF 新規加盟国掘り起こしと国際スポーツ大会へのブリッジの参加について報告があった。

ラオス、ベトナム、ブルネイと交渉中

2017 年 SEA Games 参加に向けて運動中

2018 年アジア大会への参加決定

- ・第 8 回 APBF コングレスは 2016 年 4 月 15~25 日に北京 Ditan Gymnasium で開催する。参加チーム数の制限は設けず、APBF だけでなく全世界に参加を呼びかける。

- ・2017年韓国での第51回 APBF 選手権について、日程・会場などは交渉中。
- ・APBF シニアは各国1チームを原則とする。チーム数に余裕があれば申込締切時までに登録したチームの中から抽選で参加チームを決定する。オープン・ウィメンの奇数チーム数の処理については主催国の判断に委ねるが、できるだけ **Transnational Team** が望ましい。
- ・2015-16年 APBF 同時大会の開催を承認した。ただし、2014-15年の収支が赤字となったため、今回も赤字なら2016-17年の同時大会の開催は取りやめる。また、第2土曜とその前日に開催していたが、第1週の開催も認める。

インドネシアブリッジ協会から2017年 SEA Games へのブリッジ採用へ協力を求める手紙の提出があった。

APBF バンコク大会の成績表と NPC 報告の提出があった。

山田理事より中国シニアチームのメンバーの行動や試合態度について非常に問題があると発言があった。

#### 第7号議案 錦糸町ブリッジセンターについて

5月22日に特別調査チームから提出された最終報告書について、宮内顧問弁護士が作成したサマリーを当日配付資料として配付し、このサマリーの内容について検討を行った。

宮内弁護士よりサマリー作成にあたって、事実についてはそのまま盛り込む、評価についてはある程度盛り込む、提言については箇条書きにするようにしたと説明があった。

鳩山会長代行より最終報告書をもって調査を終了するのか、調査不十分として理事会として更に調査を継続する必要があるか確認したいと提案があったが、特別調査チームとの合意を得た上でサマリーを配付し、更に調査について要求が出た場合は個別に対応することに決定した。

会員総会に提出した事業報告書における錦糸町ブリッジセンターの報告の中で、結論が出ていない以下の項目について、結論を出すこととした

- ・適切な対応ができた場合の損失額の算定について：調査チームから逸失利益が約665万円という数字が出ているが、理事会としてはこれを目安とする。
- ・前事務局長による損失補填について：減額した給与を補填額とみなすことについて、これ以上議論しないこととした。

7月10日までに役員が意見を事務局に提出し、宮内弁護士がサマリーの最終版を作成する。その後、鳩山会長代行が作成するまとめの文書とともにすべての会員に郵送し、会友には希望する方に対して郵送することとする。

第 8 号議案 その他議案

1. 次回の理事会開催について

次回理事会は 2015 年 8 月 28 日（金）午後 6 時 30 分に開催する。

当日配布書類：第 6 号議案「10<sup>th</sup> International Greek Bridge Festival への派遣承認のお願い」

「年度別会員数月次推移」

「Re: Support for Bridge Inclusion at The Seagames 2017, Malaysia and Olympic Games 2020, Tokyo」

「第 50 回 APBF 選手権バンコク大会成績表、キャプテン報告」

「錦糸町ブリッジセンターに関する特別調査チームによる調査報告について」

「5 月 31 日付予算決算対照表」「比較財務諸表」

平成 27 年 6 月 26 日（2015 年）

公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟

第 26 回理事会

代表理事 細田 博之

代表理事 鳩山 勝郎

監 事 神代 高弘

監 事 成田 秀則